

**総合お問い合わせ先
(ドコモ インフォメーションセンター)**

■ドコモの携帯電話からの場合

151 (無料)
(局番なしの) 151 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただけ、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

**海外での紛失、盗難、精算などについて
(ドコモ インフォメーションセンター)** (24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合

-81-3-6832-6600* (無料)
滞在国の国際電話
アクセス番号 -81-3-6832-6600* (無料)

※一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-09Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります
(+[+])は「0」を1秒以上タッチします。

●一般電話などからの場合(ユニバーサルナンバー)

-8000120-0151*
ユニークナンバー用
国際識別番号 -8000120-0151*

※滞在国内通話料などかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニークナンバー用国際識別番号
については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

 マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。



故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

113 (無料)
(局番なしの) 113 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

**海外での故障について
(ネットワークオペレーションセンター)** (24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合

-81-3-6718-1414* (無料)
滞在国の国際電話
アクセス番号 -81-3-6718-1414* (無料)

※一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-09Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります
(+[+])は「0」を1秒以上タッチします。

●一般電話などからの場合(ユニバーサルナンバー)

-8005931-8600*
ユニークナンバー用
国際識別番号 -8005931-8600*

※滞在国内通話料などかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニークナンバー用国際識別番号
については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

**販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 富士通株式会社**

'12.6(1版)
CA92002-7745



F-09D

クイックスタートガイド '12.6

docomo with series

詳しい操作説明は、F-09Dに搭載されている「取扱説明書」アプリ(eトリセツ)をご覧ください。

はじめに

「F-09D」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、
正しくお使いください。

操作説明

「クイックスタートガイド」(冊子)

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

「取扱説明書」(本端末に搭載)

すべての機能の案内や操作について説明
アプリケーションメニューで【取扱説明書】→検索
方法を選択

「取扱説明書」(PDFファイル)

すべての機能の案内や操作について説明
<パソコンから> [http://www.nttdocomo.co.jp/
support/trouble/manual/download/index.html](http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html)
※最新情報がダウンロードできます。

本体付属品および主なオプション品

〈本体付属品〉

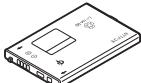
F-09D (保証書含む)



リアカバー F71



電池パック F23



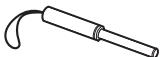
クイックスタートガイド



ワイヤレスチャージャー FO2 (保証書付き)
〈ワイヤレスチャージャー〉〈専用 AC アダプタ 02〉



タッチペン FO2



microSD カード
(2GB)(試供品)



オリジナルストラップ
(試供品)
(取扱説明書付き)

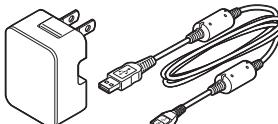
※ お買い上げ時にあらかじめ
本端末に取り付けられています。

〈主なオプション品〉

FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ T01
(取扱説明書付き)



AC アダプタ 03
(保証書、取扱説明書付き)



- ・本書においては、「F-09D」を「本端末」と表記しています。
- ・本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ・本書はホームアプリがdocomo Palette UIの場合で説明しています。
- ・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ・本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

目 次

■本体付属品および主なオプション品	1
■本端末のご利用について	3
■安全上のご注意（必ずお守りください） ...	4
■取り扱い上のご注意	13
■防水性能	17
【ご使用前の確認と設定】 21	
各部の名称と機能	21
ドコモminiUIMカード	22
microSDカード	23
電池パック	24
充電	25
電源ON／OFF	26
基本操作	27
初期設定	28
画面表示／アイコン	29
文字入力	30
ホーム画面	32
アプリケーション画面	33
【電話】 35	
電話をかける	35
電話を受ける	35
通話中の操作	36
【本体設定】 37	
設定メニュー	37
無線とネットワーク	38
ロック／セキュリティ	41
【メール／ウェブブラウザ】 44	
spモードメール	44
SMS	44
Eメール	44
Gmail	45
緊急速報「エリアメール」	45
ブラウザ	46
【付録／索引】 47	
トラブルシューティング（FAQ）	47
スマートフォンあんしん遠隔サポート	50
本端末の初期化	50
保証とアフターサービス	51
ソフトウェア更新	52
携帯電話機の比吸収率（SAR）	54
輸出管理規制	57
知的財産権	57
SIMロック解除	61
索引	62

本端末のご利用について

- ・本端末は、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- ・本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることができますので、ご了承ください。
- ・本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- ・本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- ・お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（連絡先、スケジュール、メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- ・大切なデータはmicroSDカードおよびパソコンに保存することをおすすめします。
- ・本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- ・本端末は、iモードのサイト（番組）への接続、iアブリなどには対応しておりません。
- ・Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ・本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行いうと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ・本端末では、マーモード中でも、シャッターチューン、静止画撮影のオートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は消音されません。
- ・本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P52
- ・端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行なうことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- ・microSDカードや端末の容量がいっぱいに近い状態のときに、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- ・紛失に備え画面ロックのパスワードを設定し、端末のセキュリティを確保してください。
- ・Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- ・本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になります。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。

- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスや、Twitterなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット（VPN設定はPPTPのみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- テザリング利用時は、パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、<http://www.nttdocomo.co.jp/>をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。



この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。



禁止（してはいけないこと）を示します。



分解してはいけないことを示す記号です。



濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
--	--

	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
--	---------------------------------

	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。
--	--------------------------------

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモminiUIMカード、タッチペンの取り扱い（共通）	5
本端末の取り扱い	6
電池パックの取り扱い	8
アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱い	9
ドコモminiUIMカードの取り扱い	10
タッチペンの取り扱い	10
医用電気機器近くでの取り扱い	10
材質一覧	11

◆本端末、電池パック、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモminiUIMカード、タッチペンの取り扱い（共通）

	高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。 火災、やけど、けがの原因となります。
--	---

	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
--	---

	分解、改造をしないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。 分解禁止
--	--

	水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。 水濡れ禁止 火災、やけど、けが、感電の原因となります。 防水性能についてはこちらをご参照ください。→ P17
--	--

	本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
--	--

⚠ 警告

	強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。 禁止
--	--

	充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れいでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。 禁止
--	--

	使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。 火災、やけどの原因となります。 禁止
--	---

	高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。 電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。 禁止
--	--

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



禁止

ワイヤレスチャージャーの表面や本端末のリアカバー、電池パックに金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。



禁止

ワイヤレスチャージャーと、本端末や電池パックの間に、金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。



指示

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本端末に着装しているカバーなどを取り外してください。

カバーの材質や厚み、本端末とカバーの間に挟まつたゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(おサイフケータイ ロック設定を設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。
- 電池パックを本端末から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

△注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらアプリケーションや通話、ワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

△警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。



禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいもののなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。



指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくくと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレーター（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用したガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

△注意



禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹼で水洗いしてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響について確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。→「材質一覧(P11)」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご利用ください。
視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion OO	リチウムイオン電池



禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けてできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。



禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。



禁止

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

一般的のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただきか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。



濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱い

⚠️ 警告



アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。



ACアダプタやワイヤレスチャージャーは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。



コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。



コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



ワイヤレスチャージャーに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発熱や発火、感電の原因となります。



濡れた手でアダプタのコード、ワイヤレスチャージャー、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



水に濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。
水濡れ禁止 火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書をご確認ください。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。



ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

指示

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

指示

火災、やけど、感電の原因となります。

◆ ドコモminiUIMカードの取り扱い

△注意



ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

指示

けがの原因となります。

◆ タッチペンの取り扱い

△注意



タッチペンを人に向けないでください。
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。



タッチペンを本端末に取り付けているときに、タッチペンを持って本端末を振り回さないでください。

指示

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準する。

△警告



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

指示

- ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース	フロントケース	PA-GF樹脂 UVハードコート
	リアケース	PC-GF樹脂 シボ処理
	リアカバー	PC-GF樹脂 UVハードコート
	リアカバーアイナー	シリコンゴム なし
ディスプレイパネル	強化ガラス	飛散防止フィルム
アウトカメラパネル	アクリル樹脂	なし
モバイルライトパネル	PC樹脂	シボ処理
操作キー	キートップ	PC樹脂 なし
	キー台座	PC樹脂 ハーフ蒸着
	ジョイントシート	PET なし
電源キー	PC樹脂	UVハードコート

使用箇所	材質	表面処理
音量キー	PC+ABS樹脂	UVハードコート
ストラッププレート	ステンレス鋼	光沢バーレル研磨
ストラップ固定ネジ	ステンレス鋼	黒Niメッキ
RF端子キャップ	シリコンゴム	なし
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂 UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂 なし
止水部	PC樹脂	なし
止水ゴム部	シリコンゴム	なし
ステレオイヤホン端子キャップ	本体	PC樹脂 UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂 なし
	止水ゴム部	シリコンゴム なし
ワンセグアンテナ	アンテナトップ	PC+ABS樹脂 UVハードコート
	アンテナロッド	ステンレス鋼 なし
	アンテナホルダ	亜鉛ダイキャスト Niメッキ
ワンセグアンテナ固定ネジ	ステンレス鋼	なし
外部接続端子	ステンレス鋼	錫メッキ
ネジ（電池収納部）	ステンレス鋼	なし
電池収納面	プリント基板	金メッキ

使用箇所		材質	表面処理
ドコモ miniUIM カードコネクタ	カバー	ステンレス鋼	なし
	ハウジング	LCP樹脂	なし
	ホルダ	PC+ABS樹脂	なし
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	なし
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ

■ワイヤレスチャージャー F02

ワイヤレス チャー ジャー	上ケース	PC樹脂	N-TONE 17G (充電 範囲内 : N- TONE- 15G)
	下ケース、 ボタン	PC樹脂	N-TONE 17G
専用ACアダプタ O2	上ケース	PC樹脂	N-TONE 17G相当
	下ケース	PC樹脂	N-TONE 17G相当 (ラベル座の み光沢仕上 げ)
	コード	TPE	マット
	ブッシング 部	TPE	N-TONE 17 相当
	コネクタ、 金属部	黄銅	Niメッキ
	フレードカバー	PP	マット
	フレードの トラッキン グ対策部	PA66+グラ スファイバー	N-TONE 17 相当

■タッチペン F02

使用箇所	材質	表面処理
キャップ	ABS樹脂	塗装
ストラップ	テトロン+ PET	なし
ペン	ナイロン6	なし
グリップ	AI	なし
リング	POM樹脂	なし
本体、底蓋	ABS樹脂	蒸着

■オリジナルストラップ (試供品)

ヘッド	PVC	なし
刻印リング	亜鉛、アルミ ニウム	ロジウムメッ キ
つなぎカン、二重リン グ	鉄	Niメッキ
キャップ	銅	Niメッキ
ヒモ	ポリエステル	なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- F-09Dは防水性能を有しておりますが、端末内部に浸水せたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。
 - 電池パック、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモminiUMカードは防水性能を有しております。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがあることはおやめください。また身に付いている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
 - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

● 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

● 多くのものが詰まつた荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

● ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

● 傷つくことがあります、故障、破損の原因となります。

● 電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

◆本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ビンなどの先の尖ったもので操作したりしないでください。
- タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般的な電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かになりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
 - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップを閉じた状態でご使用ください。
 - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
 - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となつたりします。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
 - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
 - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- シールなどで本端末を装飾しないでください。
 - ワイヤレスチャージャーで充電できなくなることがあります。

◆電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
 - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5°C～35°C）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

◆アダプタ、ワイヤレスチャージャーについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5°C～35°C）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気（ほこり）、振動の多い場所
 - 一般的な電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタやワイヤレスチャージャーが温かくなることがあります、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 断け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
 - 故障の原因となります。
- ワイヤレスチャージャーの使用中に、布などを被せないでください。
- 指定の機器や専用ACアダプタ以外は、ワイヤレスチャージャーに使用しないでください。
- 本端末にアダプタやPC接続用USBケーブルを接続した状態でワイヤレスチャージャーに置かないでください。
- 磁気カードなどをワイヤレスチャージャーに近づけないでください。
 - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- ワイヤレスチャージャーに磁気を帯びたものを近づけないでください。
 - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆ ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ・ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ・他のICカードリーダー／ライターなどにドコモ miniUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ・IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ・お手入はれ、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- ・お客様ご自身でドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださいようお願いします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ・ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- ・ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えないでください。
 - 故障の原因となります。
- ・ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ・ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
 - 故障の原因となります。

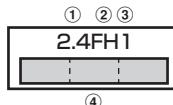
◆ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- ・本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

- ・Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・周波数帯について

本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1 : 想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ [] : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

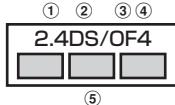
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を考えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- ・無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ・無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
 - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

・周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、本端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。

⑤ □□□□：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。 WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆FeliCaリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

◆注意

- 改造された端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク[◎]」が本端末の銘版シールに表示されております。

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車など運転中の使用にはご注意ください。
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
本端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。

海外でご使用になると罰せられることがあります。

- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。

本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。

海外でご使用になると罰せられることがあります。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水性能

F-09Dは、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5^{*1}、IPX8^{*2}の防水性能を有しています。

*1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

*2 F-09DにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-09Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。（水中においてカメラ機能は使用できません。）

◆F-09Dが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずにお電話やワンセグ視聴ができます。

・手が濡れいるときや端末に水滴がついているときは、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップの開閉はしないでください。

- 水深1.5mのプールの中に沈めることができます。

・水中で操作しないでください。
・プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
・プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、後述の方法で洗い流し、所定の方法（→P20）で水抜きしてください。

- お風呂場で使用できます。

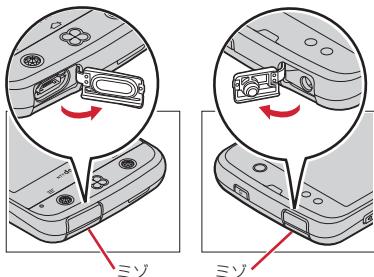
・湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。
・温泉や石鹼、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。

- 洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。
- 洗うときはリアカバーを確実に取り付けた状態で、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどを使用せず洗ってください。

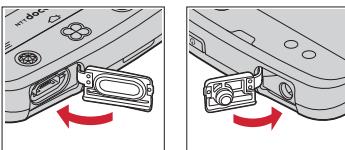
◆防水性能を維持するために

水の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 外部接続端子やステレオイヤホン端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けけてキャップを開けてください。



また、外部接続端子やステレオイヤホン端子使用後は次の図に示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。



- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「■取り付けかた」の④⑤をご覧ください。→P24
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面上に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつかないでください。
- 落さないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹼／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う
強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉を使う



砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水性能を有していません。付属のワイヤレスチャージャーに本端末を置いた状態でワイヤレス視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P17）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当て痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-09DはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で運動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。

- 外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

- 外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏ってくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

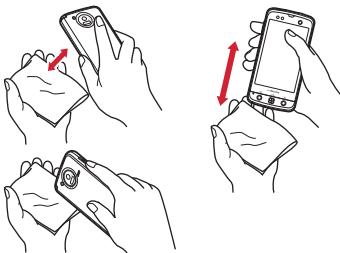
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ マイク（送話口）、受話口、スピーカー、キーなど の隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るよう押し当てて拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まつた水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

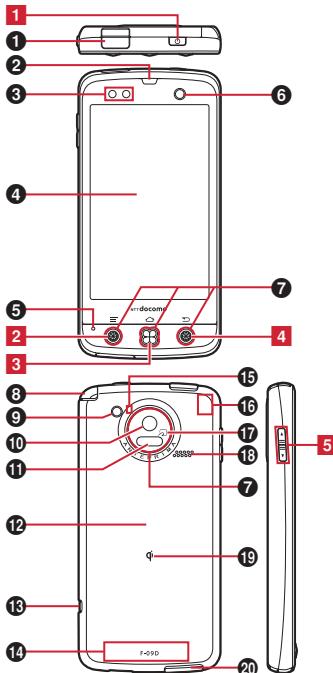
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていなか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属のワイヤレスチャージャーの上に置いたり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、ワイヤレスチャージャーを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、ワイヤレスチャージャーは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、ワイヤレスチャージャーに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



各部の機能

① ステレオイヤホン端子

※ ステレオイヤホンのプラグを差し込むとイヤホン接続時マイク選択画面が表示されます。

② 受話口

③ 接近センサー／照度センサー

接近センサー：通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐ

照度センサー：周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトを自動調節

※ 保護シートやシールを貼り付けるなどセンサー部分をふさぐと、誤動作する場合や正しく検知されない場合があります。

④ ディスプレイ（タッチパネル）

⑤ 送話口／マイク

⑥ インカメラ

⑦ イルミネーション（キーイルミネーション、カメラリングイルミネーション）

※ キーイルミネーション中央とカメラリングイルミネーションは複数の色で点灯／点滅します。

※ 点灯／点滅色は、イルミネーション設定により異なります。

⑧ ワンセグアンテナ

※ ワンセグ視聴時に伸ばします。

⑨ カメラライト（フラッシュ）

⑩ アウトカメラ

⑪ 赤外線ポート

⑫ リアカバー

※ リアカバーを外して、電池パックを取り外すと、ドコモminiUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。

※ リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。

⑬ ストラップホール

⑭ FOMAアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑮ Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑯ GPSアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑰ ◇マーク

ICカードの搭載

※ ◇マークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用できます。また、対応するアプリケーションをダウンロードすると、IC通信でデータを送受信できます。なお、ICカードは取り外せません。

⑯ スピーカー

⑰ ◆マーク

◆マークがある製品はワイヤレスチャージャーを使って充電できます。

⑲ 外部接続端子

別売りのACアダプタ 03などの接続

〈キーの機能〉

キーを押して動作する機能は次のとおりです。

① 電源キー (○)

押す：スリープモードの設定／解除

長く押す：電源を入れる／切る、再起動、マナーモード、公共モード、機内モードの設定／解除

② メニューキー (◎)

押す：現在の画面で使用できる設定などの表示

1秒以上押す：文字入力時はキーボードの表示／非表示

③ ホームキー (◎)

押す：ホーム画面に戻る

1秒以上押す：タスク管理

④ バックキー (⊖)

押す：直前の画面に戻る

⑤ 音量キー (□)

押す：各種機能の音量の調節

□を1秒以上押す：マナーモードの設定／解除

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

- ・本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口でお取り替えください。

- ・ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられないなど、一部の機能を利用できません。

- ・ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

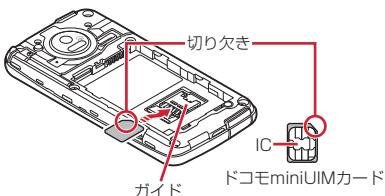
◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- ・取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアパネルと電池パックを取り外してから行います。→ P24

■ 取り付けかた

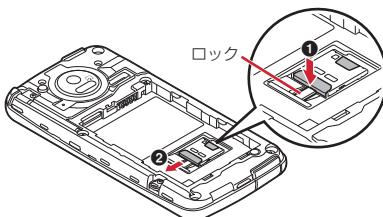
- ① ドコモminiUIMカードのIC面を下にして、ガイドの中に差し込む

- ・切り欠きの方向にご注意ください。



■ 取り外しかた

- ① 指でロックを押しながら(①)、ドコモminiUIMカードを②の方向に2~3mm引き出す
- ② ロックから指を離し、ドコモminiUIMカードを軽く押さえながら②の方向へスライドさせる
 - ・このときドコモminiUIMカードを下方向に強く押し付けないでください。



microSDカード

◆ microSDカードについて

本端末にmicroSDカードまたはmicroSDHCカードを取り付けてご使用ください。取り付けていない場合、カメラ、音楽や動画（再生やダウンロード）など一部の機能がご利用になれません。

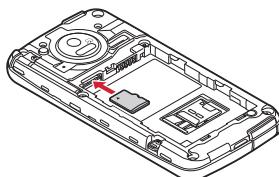
- ・本端末は、2GBまでのmicroSDカードまたは32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年6月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- ・microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたときにデータが壊れる恐れがあります。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- ・お買い上げ時は、あらかじめmicroSDカード（試供品）が取り付けられています。ご使用前に、microSDカードの取扱説明書もご覧ください。
- ・取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→ P24

■ 取り付けかた

- ① microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きで挿入口にロックするまで差し込む



■ 取り外しかた

- ① microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す

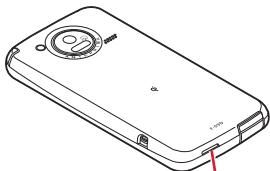
電池パック

◆ 電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持て行ってください。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとどかから、リアカバーを取り外してください。
- 本端末専用の電池パック F23をご利用ください。

■ 取り付けかた

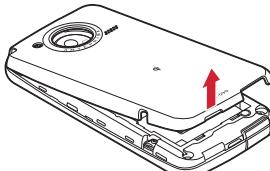
- ① リアカバー取り外し部に爪をかける



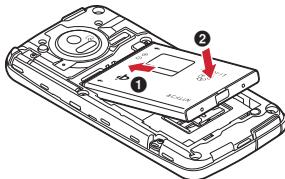
リアカバー取り外し部

- ② リアカバーを垂直に持ち上げながら取り外す

- 防水性能を維持するため、リアカバーはしっかりと取り付ける構造となっています。取り外しにくい場合は、力を入れて取り外してください。



- ③ 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて①の方向に差し込みながら、②の方向に取り付ける

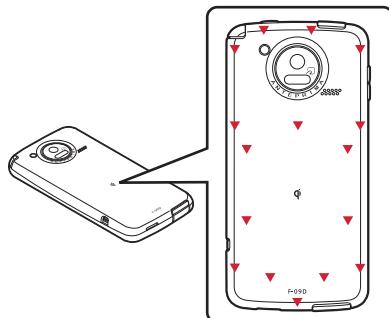


- ④ リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する

- ⑤ リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて▼部分をしっかりと押して、完全に閉める

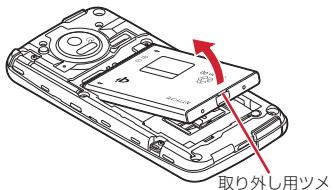
- 防水性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

※「防水性能」について→P17



■ 取り外しかた

- ①電池パックの取り付けの操作①と操作②を行う
- ②電池パックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す

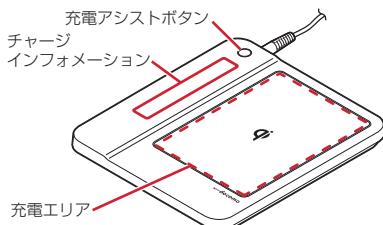


充電

◆ ワイヤレスチャージャーを使って充電

付属のワイヤレスチャージャー F02を使って充電します。

- ・マークがあるドコモ提供の対応機器をワイヤレスチャージャーで充電できます。マークがある製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）による無接点充電規格に適合しています。
- ・各部の名称は次のとおりです。



・充電アシストボタンは、小型の対応機器（出力が小さく（1W程度）、ワイヤレスチャージャーの充電エリアの中央部に置いても充電を開始しない機器）の充電が開始しない場合に使用するボタンです。

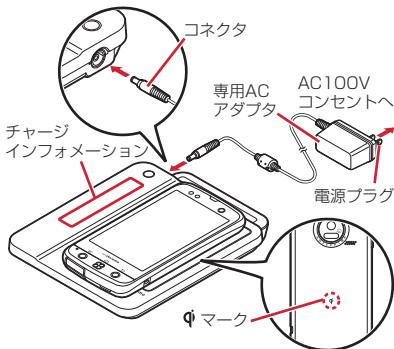
- ・ワイヤレスチャージャーに電池パックのみを置いて充電することもできます。電池パックのマークがある面を下に向けて、ワイヤレスチャージャーのマークの上に置いてください。

- ①専用ACアダプタのコネクタをワイヤレスチャージャーに差し込む
- ②専用ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

③本端末をワイヤレスチャージャーに置く

- ・本端末のマークがある面を下に向けて、ワイヤレスチャージャーのマークと電池パックの位置が重なるように置いてください。
- ・充電の状態については「■チャージインフォメーションについて」をご覧ください。
- ・充電中は本端末のキーイルミネーションが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

- ④充電が終わったら、専用ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く



■ チャージインフォメーションについて

充電の状態はチャージインフォメーションで確認します。チャージインフォメーションの見たちは次のとおりです。

点灯：充電中

点灯→消灯：充電完了

点滅（約1秒間隔）※：本端末／電池パックを認識中早い点滅（約0.25秒間隔）：充電異常または故障

ゆっくり点滅（約2秒点灯→約1秒消灯）：充電温度待

機中

・本端末／電池パックが認識されていない場合は点灯／点滅しません。

※ 1秒間隔の点滅が早い点滅になったり、充電が完了していないのに消灯したりした場合は、本端末が認識されません。充電エリアから取り外し、中央に置き直してください。

◆ ACアダプタを使って充電

別売りのACアダプタ 03を使って充電します。

- ① microUSBケーブルのUSBプラグを、ACアダプタの端子に差し込む
- ② 本端末の端子キャップを開け、microUSBケーブルのmicroUSBプラグを外部接続端子に差し込む
- ③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中はキールミネーションが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
- ④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- ⑤ ACアダプタと本端末からmicroUSBケーブルを抜き、本端末の端子キャップを閉じる

◆ パソコンを使って充電

別売りのPC接続用USBケーブル T01などで接続するど、本端末をパソコンから充電することができます。

- ・パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

電源ON／OFF

◆ 電源を入れる

- 1 キールミネーションが緑色に点灯して同時にバイブレータが振動するまで□を押し続ける(2秒以上)

起動画面に統いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

2 ロック画面で▲

■ 初めて電源を入れたときは

初期設定を行った後、ドコモサービスの初期設定を行います。それぞれ画面の案内に従って操作してください。

- ・ソフトウェア更新機能の確認画面が表示された場合は[OK]をタップします。

◆ 電源を切る

- 1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで□を押し続ける

2 [電源を切る]→[OK]

バイブルータが振動して電源が切れます。

再起動：[再起動]

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末はタッチパネルを指または付属のタッチペン F02で直接触れて操作します。

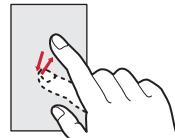
❖ タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指または付属のタッチペン F02で軽く触れるように設計されています。指やタッチペンで強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- ・次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたまでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたまでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - タッチパネルが濡れたまでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作
- ・タッチペンはキャップを取り外して使用してください。
- ・タッチペンを使用する場合は、メタリックカラーの部分を持って操作してください。また、タッチペン先端の黒い部分がタッチパネルに触れるようにしてください。
- ・タッチペンがタッチパネルに対して傾きすぎていると、正常に動作しないことがあります。

❖ タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてから離します。画面から指やタッチペンを離した時点で操作が有効になります。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

❖ ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指やタッチペンを触れたまま次の操作を行う場合もあります。

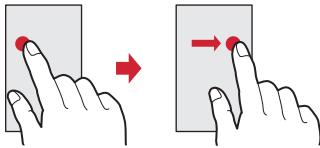
❖ ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指やタッチペンを触れたまま、任意の位置に動かします。

スライド（スワイプ）：画面に指やタッチペンを軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

・アプリケーションによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

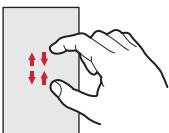
パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

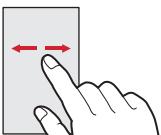
❖ ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



❖ フリック

画面に触れた指やタッチペンをすばやく払います。



◆ 縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- 本端末を手に持ちながら2回以上振ると、自動回転によって横向きに変わった画面を縦画面に戻して固定します（戻ってシェイク）。
- 本端末を縦に戻す、または通知パネルを開いてタップすると、戻ってシェイクの画面固定を解除できます。

◆ スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

1 [□] と [□] を同時に押す(1秒以上)

通知パネルを開いてタップ、またはアプリケーションメニューで「[ギャラリー]」→「[Screenshots]」をタップすると、画像を確認できます。

初期設定

本端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。

- 各設定はいつでも変更できます。

1 ホーム画面で [≡] → [本体設定] → [初期設定]

2 各項目を設定

自分からだ設定：自分からだ設定の基本情報やあわせるボイスの設定を行います。

画面ロックの認証設定：画面ロックについて設定します。

セキュリティ解除方法：セキュリティロックの解除方法を設定します。

ホーム壁紙：ホーム画面の壁紙を設定します。

フォトスクリーン：ロック画面の背景画像を設定します。

かんたんお引越し：microSDカードを経由してFOMA端末のデータを移行できます。

Googleアカウント：Googleアカウントを設定します。

❖ その他の初期設定について

初期設定の項目以外にも、必要に応じて、次の項目を設定してください。

- Eメールのアカウントの設定→P44
- Wi-Fi機能の設定→P39
- アクセスポイント(APN)の設定→P38

画面表示／アイコン

◆ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。



■主な通知アイコン

- ✉: 新着Gmail
- ✉: 新着Eメール
- ✉: 新着SMS
- ✉: 新着エアメール
- ❗: SMSの送信失敗
- ✉: 伝言メッセージ
- ✉: 新着インスタントメッセージ
- ⌚: 同期トラブル
- 📶: Wi-FiがオンでWi-Fiネットワークが利用可能
- 📶: Wi-Fiテザリングが有効
- 🔌: USB接続中
- 📶: USBテザリングが有効
- 📶: Wi-FiテザリングとUSBテザリングが有効
- 📞: 通話中
- 🔕: 不在着信
- 📞: 通話保留中
- ⬇/⬆: データのアップロード完了／ダウンロード完了
- ☑: Androidマーケットなどからのアプリケーションがインストール完了
- ☑: Androidマーケットのアプリケーションがアップデート可能
- ⓘ: 隠れた通知の件数
- 🎧: イヤホン接続中（端末のマイクからの入力）
- 🎧: イヤホン接続中（イヤホンマイクからの入力）
- 📷/📹: ワンセグ受信中／録画中
- VPN接続
- ⌚/☑/❗: ソフトウェア更新有／完了／継続不可
- ⌚: エコモードPro（タイマーEコモード）
- 🔋: エコモードPro（電池残量エコモード）

自: エコモードPro（今すぐエコモード）

확大: あわせるズームで画面拡大中

固定: 持っている間にONで画面点灯中

戻す: 戻ってシェイクで画面固定中

■主なステータスアイコン

📶*: 電波状態

📶*: ローミング中

🌐: 圏外

📶*: 🔍*: （矢印がグレー）: GPRS通信中／使用可能

📶*: 🔍*: （矢印がグレー）: 3G（パケット）通信中／

使用可能

📴: 機内モード

📶*: WiFi接続中

📴: Bluetooth機能オン

📴: Bluetooth機器接続中

⌚: データ同期中

🔒: おサイフケータイ ロック設定中

📴: ドコモminiUIMカード未挿入

📴: スピーカーフォンオン

🔇: マイクミュート

📞: 着信音量0

🔊: バイブレーションオン

📴: 公共モード（ドライブモード）

📴: マナーモード（通常マナー）

📴: マナーモード（サイレントマナー）

📴: マナーモード（アラームONマナー）

📴: マナーモード（オリジナルマナー）

شحن: 要充電

🔋: 電池残量が少ない

🔋: 電池残量十分

充满: 充電中

GPS: GPS測位中

🔤: ATOKのかな入力モード

🔤: ATOKの英数字入力モード

🔢: ATOKの数字入力モード

🔠: ATOKの手書き入力モード

🔤: ATOKの絵文字／顔文字／記号、定型文、文字コード入力

🔤: Googleアカウントでログインしているときに、緑色で表示されます。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にNX!inputでの入力方法について説明します。

◆ キーボードの使いかた

テンキー型キーボード、QWERTYキーボード、手書きキーボードを使って文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声文字入力を起動することができます。
- キーボードの設定の手書き入力の設定で上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキー型キーボード（ケータイ入力時）やQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。お買い上げ時は上書き手書き入力が有効に設定されています。

■ テンキー型キーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。入力方式の設定により、ケータイ入力、ジェスチャー入力、フリック入力の3種類の入力方式を使用できます。→P32



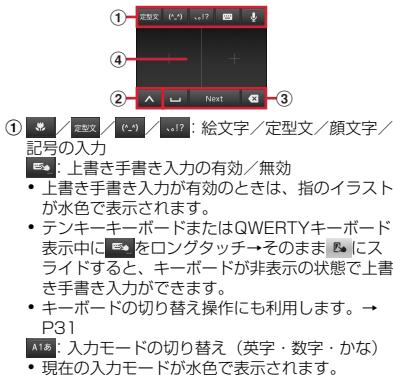
■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。



■ 手書きキーボード

手書きで文字を入力できます。



① [定型文] (Kotyō-mon) / ...? : 絵文字/定型文/顔文字/記号の入力

② [] : 上書き手書き入力の有効/無効

- 上書き手書き入力が有効のときは、指のイラストが水色で表示されます。

③ テンキー型キーボードまたはQWERTYキーボード表示中に [] をロングタッチ→そのまま [] にスライドすると、キーボードが非表示の状態で上書き手書き入力ができます。

- キーボードの切り替え操作にも利用します。→ P31

④ A1: 入力モードの切り替え（英字・数字・かな）

- 現在の入力モードが水色で表示されます。

⑤ [] : 音声文字入力の起動

※文字を入力すると変換候補が表示され、選択できます。変換候補の表示領域を左右にスライドすると隠れている候補を表示できます。また、上にスライドして隠れている候補を表示したり、下にスライドして元の表示に戻すことができます。キーボードによっては、変換候補の下に、確定前の文字列が表示されます。

おもしらせ オシラセ 1 1 1 1
おもしらせ オシラセ 1 1 1 1 1

⑥ [] : 手書きキーボードからテンキー型キーボード/QWERTYキーボードに切り替え

- ② ：直前に確定した文字を変換前の文字に戻す
：テンキーキーボードでの入力で、キーに割り当てられた文字を逆順に表示
：カーソルを左に移動
：英字入力時の大文字と小文字の切り替え
• タップするたびに、大文字→大文字固定→小文字に切り替わります。
：絵文字、顔文字、記号、定型文、文字コードの入力、電話帳やパスワードマネージャーの引用入力のメニュー、NXInputの設定に切り替え
• キーボードの非表示の操作にも利用します。→ P31
：キーボードの切り替え→P31
（ロングタッチ）：音声文字入力の起動
：カタカナ／数字／英数／年月日（全角／半角）などに変換
：かな／全角カタカナ／半角カタカナ、英字の後変換候補から選択
：英数字入力と記号入力モードの切り替え
• QWERTYキーボードの設定で数字キーを表示に設定した場合に表示されます。数字キーを非表示に設定した場合は、各キーを下にフリックしてキーに割り当てられている数字や記号を入力できます。
③ / ：カーソルの左側の文字を削除／カーソルの右側の文字を削除
：カーソルを右に移動
 / ：文字の変換／空白の入力
 / ：次の入力項目にカーソル移動／確定または改行
• この他にも、、など、機能が変化する場合があります。

- ④ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力
• 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。
• 認識された文字をタップして、補正候補の文字の一覧から入れ替える文字を選択できます。上から書き直すこともできます。



❖ キーボードの表示／非表示

■ キーボードの表示

1 文字入力欄を選択

■ キーボードの非表示

1 をタップ→ガイドが表示されたらそのまま任意の方向にスライド→がに切り替わってから、再度にスライドして指を離す

❖ キーボードの切り替え

■ テンキーキーボードとQWERTYキーボード

1 テンキーキーボードまたはQWERTYキーボード表示中に→キーボードの種類を選択

■ 手書きキーボード

1 テンキーキーボードまたはQWERTYキーボード表示中にをロングタッチ→そのままにスライド
 テンキーキーボードまたはQWERTYキーボードに切り替え：手書きキーボード表示中に

❖ テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の3つの入力方式を利用できます。

- キーボードの設定の「テンキーの設定」で入力方式を選択して利用します。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「ぱ」を入力する場合

- 英数字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあと「・」を1回または2回タップします。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。□を押していつでも呼び出すことができます。



「ひつじのしじくん®」
©NTT DOCOMO

① ステータスバー→P29

ステータスバーを下方向にドラッグすると、通知パネルが表示されます。

② インジケーター

ホーム画面の現在位置を示します。

③ カスタマイズエリア

ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

④ ドック

パーソナルエリア以外のホーム画面に表示されます。

✓お知らせ-----

- ホーム画面で□→【本体設定】をタップして、設定メニューを表示できます。

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリケーションのショートカットやウィジェットなどを自由に配置できます。

- 1 左右にフリックしてカスタマイズする
ホーム画面を表示→カスタマイズエリア
の空き領域をロングタッチ
- 2 [ショートカット] / [ウィジェット] /
[フォルダ] / [グループ] → 必要に応じて
項目の選択や設定を行う
 - ・項目をロングタッチしてドラッグすると、位置
を変更できます。
 - ・ウィジェットによっては、ロングタッチしてサ
イズを変更することができます。
 - ・フォルダをロングタッチして「名称変更」を
タップすると、フォルダ名を変更できます。

◆ ショートカットなどの削除

- 1 左右にフリックしてカスタマイズする
ホーム画面を表示
- 2 削除するショートカットなどをロング
タッチ→[削除]
 - ・ロングタッチした後、画面下の▲までドラッグ
しても削除できます。

◆ きせかえ／壁紙の変更

- 1 カスタマイズエリアの空き領域をロング
タッチ
- 2 [きせかえ] / [壁紙] / [壁紙ループ設定]
→ 項目の選択や設定を行う

アプリケーション画面

アプリケーションメニューを呼び出し、登録されてい
るアプリケーションを起動したり、本端末の設定を変
更したりできます。

◆ アプリケーションメニューの表示

1 ホーム画面で



アプリケーションメニュー

- ① アプリ一覧／おすすめアプリ切り替えタブ
- ② グループ
- ③ グループ内アプリケーション
- ④ グループ内アプリケーションの数
- ・新着アプリケーションのアイコンには■が表示
されます。
- ・アプリケーションによっては、アイコンに未読
件数が表示されます。

グループ内アプリケーションの表示／非表示：グ ループ名をタップ

全グループ内アプリケーションの表示／非表示： ピンチアウト／イン

ホーム画面へ追加：アプリケーションまたはグ ループをロングタッチ→[ホームへ追加]

アプリ一覧／おすすめアプリの切り替え：[ア プリ] / [おすすめ]

◆ アプリケーションメニューの管理

1 アプリケーションメニュー表示中に目的の操作を行う

アプリケーションのアンインストール：アプリケーションをロングタッチ→【アンインストール】→【OK】→【OK】

並べ替え：アプリケーションまたはグループをロングタッチ→移動先へドラッグ

- アプリケーションをロングタッチした後、「移動」を選択しても移動できます。

グループの追加：②→【グループ追加】→グループ名を入力→【OK】

- 最大50件のグループを設定できます。

グループ名の編集：グループをロングタッチ→【名称変更】→グループ名を入力→【OK】

グループのラベル変更：グループをロングタッチ→【ラベル変更】→ラベルを選択

グループの削除：グループをロングタッチ→【削除】→【OK】

表示形式の切り替え：②→【リスト形式】／【タイル形式】

電話

電話をかける

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]

- ホーム画面で → [ダイヤル] をタップしても、電話をかけられます。

2 電話番号を入力→

- 訂正する場合は をタップします。

3 通話が終了したら[終了]

◆緊急通報

- 本端末から 110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信ができる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]→緊急通報番号を入力

警察への通報：110

消防・救急への通報：119

海上での通報：118

2

✓お知らせ

- ドコモminiUIMカードが未挿入の場合、日本国内では緊急通報をかけられません。
- 画面に「緊急通報」が表示されているときは、タップして緊急通報をかけられます。ただし日本国内では、PINコード入力画面表示中またはPINコードロック（PUKロック）（→P42）中は、緊急通報をかけられません。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

: 着信音、バイブレータの動作を止める

2 [操作開始]→[通話]

着信拒否 :

応答保留 : → [応答保留]

伝言メモ録音 : を右端までドラッグ

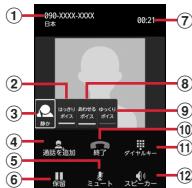
3 通話が終了したら[終了]

✓お知らせ

- 録音した伝言メモを再生するには、アプリケーションメニューで [電話] → → [通話設定] → [伝言メモ] → [伝言メモリスト] → 再生したい伝言メモを選択します。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。



- ① 名前や電話番号
 - ② はっきりボイスのON／OFF*
 - ③ はっきりボイス／ぴったりボイスの状態表示
 - ④ 別の相手に電話をかける
 - ⑤ マイクをオフ（消音）*
 - 自分の声が相手に聞こえないようにします。
 - ⑥ 通話を一時保留*
 - ⑦ 通話時間
 - ⑧ あわせるボイスのON／OFF
 - ⑨ ゆっくりボイスのON／OFF*
 - ⑩ 通話を終了
 - ⑪ ダイヤル入力のダイヤルレッパードを表示*
 - ブッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。
 - ⑫ スピーカーフォンをオン*
 - 相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
- * もう一度タップするとタップ前の状態に戻ります。

◆ 通話音量

- ・通話中以外は通話音量を調節することはできません。

1 通話中に

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で⑤→【本体設定】を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

■ 設定

マイプロファイル：お客様の電話番号や【マイプロファイル】に登録したご自身の情報を表示します。

初期設定：初めて電源を入れたときに行う設定画面を表示します。

■ 無線とネットワーク

Wi-Fi：ネットワークとWi-Fiの詳細設定などを行います。

Wi-Fi簡単登録：AOSS／WPS方式に対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する設定を行います。

Bluetooth：Bluetooth機能の設定を行います。

データ使用：データ使用状況を表示します。

その他：機内モードやテザリングなどの設定を行います。

■ 端末

通話設定：ドコモのネットワークサービスやインターネット通話などの設定を行います。

音・振動：公共モードやマナーモード、バイブレーション、着信音などの設定を行います。

ディスプレイ：画面の明るさやフォント、プライバシービューなどの設定を行います。

マルチメディア：動画（テレビやYouTubeなど）と、静止画（ギャラリー）の画質補正を設定します。

ストレージ：空き容量表示やmicroSDカードのデータ消去などを行います。

電池：電池残量や電池使用量などを表示します。

NX1エコ：画面の明るさや各種機能を調整して消費電力を抑えます。

アプリケーション：アプリケーションに関する設定を行います。

■ ユーザー設定

ドコモサービス：ドコモの提供するアプリの設定や、アプリ利用状況提供機能の設定などを行います。

アカウントと同期：アカウントや同期に関する設定を行います。

位置情報サービス：現在地情報の設定やGPS機能などの使用について設定します。

セキュリティ：画面ロックやパスワード、プライバシーモードなどの設定を行います。

イルミネーション：イルミネーションに関する設定を行います。

自分からだ設定：基本情報を入力し、歩数／活動量計測アプリの設定を行います。

スライドインランチャー：登録したアプリやショートカットなどを簡単に起動できるランチャーの設定を行います。

言語と入力：使用言語やキーボードの設定、音声検索やテキスト読み上げなどの設定などを行います。

バックアップとリセット：データの初期化などを行います。

■ システム

日付と時刻：日付や時刻に関する設定を行います。

ユーザー補助：ユーザー操作を補助する設定を行います。

開発者向けオプション：USBデバッグや擬似ロケーション、ユーザーインターフェース、アプリケーションなどのソフトウェア開発者用機能の設定を行います。

端末情報：本端末の各種情報を表示します。

無線とネットワーク

◆ アクセスポイント (APN) の設定

- インターネットに接続するためのアクセスポイント (spモード、mopera U) はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
- 買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。
 - テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。

❖ アクセスポイントの追加（新しいAPN）

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- 1 ホーム画面で①→[本体設定]→[その他]
→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]
- 2 ②→[新しいAPN]
- 3 [名前]→ネットワークプロファイル名を
入力→[OK]
- 4 [APN]→アクセスポイント名を入力→
[OK]
- 5 その他、通信事業者によって要求されてい
る項目を入力→③→[保存]

❖ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 ホーム画面で①→[本体設定]→[その他]
→[モバイルネットワーク]→[アクセスポ
イント名]
- 2 ②→[初期設定にリセット]

✓お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントを選択し①→[APNを削除]をタップして、アクセスポイントを1件ずつ削除することができます。

❖ spモード

- spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。
- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖ mopera Uの設定

- mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。
- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

- 1 ホーム画面で①→[本体設定]→[その他]
→[モバイルネットワーク]→[アクセspo
イント名]
- 2 [mopera U(スマートフォン定額)]／
[mopera U設定]

✓お知らせ

- [mopera U設定]は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

- [mopera U（スマートフォン定額）]をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

❖ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 ホーム画面で③→[本体設定]

2 [Wi-Fi]を[ON]

- 通知パネルの設定ボタンでもON／OFFを設定できます。

3 [Wi-Fi]→Wi-Fiネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、[接続]をタップします。

✓お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- 「プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。」と表示されているときは、Auto-IP接続となるためアプリケーション通信を含むインターネット接続ができません。インターネットに接続する場合は、電波状況、パスワード（セキュリティキー）をご確認の上、接続し直してください。

❖ Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で③→[本体設定]→[Wi-Fi]

2 [ネットワークを追加]

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

- セキュリティは「なし」【WEP】【WPA/WPA2 PSK】【802.1x EAP】が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→[保存]

❖ Wi-Fiネットワークの切断

1 ホーム画面で③→[本体設定]→[Wi-Fi]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[切断]

✓お知らせ

- Wi-FiをOFFにしてWi-Fiネットワークを切断した場合、次回Wi-FiのON時に接続可能なWi-Fiネットワークがあるときは、自動的に接続されます。

◆ Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

1 ホーム画面で③→[本体設定]→[Wi-Fi簡単登録]

2 登録方式を選択

AOSS™方式：[AOSS方式] → [はい] → アクセスポイント側でAOSS™ボタンを押す

WPS方式：[WPS方式] → [ブッシュボタン方式] / [PIN入力方式(8桁)] / [PIN入力方式(4桁)] → アクセスポイント側で操作

- ブッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、[OK]をタップします。

✓お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティがWEPまたはWPAに設定されている場合は、WPS方式で接続できません。

◆テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fiで接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリケーションが正常に動作しない場合があります。

❖USBテザリング

本端末を別売りのPC接続用USBケーブルT01でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

- 1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続**
- 2 ホーム画面で〔〕→[本体設定]→[その他]→[テザリング]**
- 3 [USBテザリング]にチェック**
 - Windows XPパソコンをお使いの場合はUSBテザリングをOFFにせずに、パソコンからUSBケーブルを取り外してください。
- 4 注意事項の詳細を確認して[OK]**

✓お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境は次のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。

- Windows XP (Service Pack 3以降)、Windows Vista、Windows 7

- Windows XPパソコンでUSBテザリングを行うには、パソコン側に専用ドライバをインストールする必要があります。専用ドライバのダウンロードについては、次のサイトをご覧ください。

<http://www.fmworld.net/product/phone/usb/>

❖Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を8台まで同時接続できます。
- 日本国内では1～13チャンネル、国外では1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

❖Wi-Fiテザリングの設定

Wi-FiテザリングをONにして、接続の設定を行います。

- お買い上げ時の状態では、セキュリティには[WPA/WPA2 PSK]が、「[パスワード]」にはランダムな値が設定されています。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

- 1 ホーム画面で〔〕→[本体設定]→[その他]→[テザリング]**

- 2 [Wi-Fiテザリング]にチェック**

- 通知パネルの設定ボタンでもON/OFFを設定できます。

- 3 注意事項の詳細を確認して[OK]**

4 [ネットワークSSID]→ネットワークSSIDを入力

- お買い上げ時には、「F-09D_AP」が設定されています。
- 登録済みの設定を変更する場合は、[Wi-Fiテザリングを設定]を選択すると設定画面が表示されます。

5 [セキュリティ]→セキュリティを選択

- セキュリティは「[Open]」[WEP64] [WEP128] [WPA PSK TKIP] [WPA PSK AES] [WPA2 PSK AES] [WPA/WPA2 PSK]が設定可能です。

6 [パスワード]→パスワードを入力→保存

❖ Wi-Fi対応機器の簡単登録

AOSSTMまたはWPSに対応したWi-Fi対応機器を登録します。

あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で③→[本体設定]→[その他]→[テザリング]→[Wi-Fi簡単登録]

2 登録方式を選択

AOSSTM方式：[AOSS方式]→[はい]→Wi-Fi 対応機器側でAOSSTMボタンを押す→[OK]

WPS方式：[WPS方式]→[ブッシュボタン方式]／[PIN入力方式]→各種操作→登録画面で[OK]

ブッシュボタン方式の場合は、[OK]をタップ後Wi-Fi対応機器側で専用ボタンを押します。 PIN入力方式の場合は、Wi-Fi対応機器に表示されたPINコードを入力後、[OK]をタップします。

ロック／セキュリティ

◆ 本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号をお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただき、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomoID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

※「My docomo」については、本書巻末の1つ前のページ（アプリケーションの「取扱説明書」では、「付録」の「マナーもいっしょに携帯しましょう」）をご覧ください。

❖PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4~8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

◆ PINコードの設定

❖SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で①→[本体設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]

✓お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。

❖PINロックの解除

1 PINコードがロックされた状態で[緊急通報]

2 [05*[PINロック解除コード]*[新しいPINコード]*[新しいPINコード]#]と入力**

- 例えば、PINロック解除コードが88888888でPINコードを7777に変更する場合、「**05*88888888*7777*7777#」と入力します。

◆ おまかせロック

本端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。

お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時に圈外などでおまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合は自動的にロックがかかります。ただし、解約・電話番号変更を行った場合や紛失などで新しいドコモminiUIMカードの発行（番号を指定してロッケした場合のみ）を行った場合は、1年以内であっても自動的にロックはかかりません。

お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただし、ご利用の一時中断と同時に、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）

※ 本端末のデバイス管理の設定（→P43）で「おまかせロック」を無効にしている場合は、おまかせロックがかかりませんのでご注意ください。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

受付時間 24時間（年中無休）

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（基本編）』をご覧ください。

◆ デバイス管理

本端末の管理者の権限の有効／無効を設定します。あらかじめ有効なデバイス管理者が設定されている場合にのみ設定できます。

- おまかせロックを利用する場合は、「おまかせロック」を有効にする必要があります。

1 ホーム画面で③→[本体設定]→[セキュリティ]→[デバイス管理機能の選択]→管理機能を選択→[有効にする]／[無効にする]

メール／ウェブブラウザ

spモードメール

i モードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信をします。

縦文字、デコメール[®]の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 アプリケーションメニューで[spモードメール]

以降は画面の指示に従って操作します。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、最大全角70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）の文字メッセージを送受信します。

◆ SMSを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→✉

2 [To]→携帯電話番号を入力

3 [メッセージを入力]→メッセージを入力 →►

Eメール

mopera JIや一般的なプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

◆ 一般プロバイダのメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

◆ Eメールを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のアカウントをタップして切り替えます。

2 ✉

3 [To]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、②→[Cc／Bccを追加]をタップします。

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成します]→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、②→[ファイルを添付]→ファイルを選択します。

6 ►

◆ Eメールの受信／表示

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のアカウントをタップして切り替えます。
- アカウントをタップして「統合ビュー」をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 受信トレイを更新するには

3 Eメールを選択

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

◆ Gmailを開く

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

❖ Gmailの更新

1 受信トレイで

本端末のGmailとWebサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

- Gmailの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
Gmailの受信トレイで $\textcircled{≡}$ → [ヘルプ]

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかつたエリアメールを後で受信することはできません。

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴ります。スパーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→P45

◆ 受信したエリアメールの表示

1 アプリケーションメニューで[エリアメール]→エリアメールを選択

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールの受信設定や着信音の設定をしたり、受信動作の確認をしたりします。

1 アプリケーションメニューで[エリアメール]→ $\textcircled{≡}$ →[設定]→各項目を設定

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。本端末では、バケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ダブルタップ：拡大します。

- ・拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

ズームコントロール：画面をフリックしてズームコントロールを表示します。で拡大し、で縮小します。

- ・現在表示しているWebページの拡縮率を、次にWebページを開いたときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小した時などに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効（）／無効（）を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 アプリケーションメニューで【ブラウザ】ホームページ設定に設定しているホームページが表示されます。

2 画面を下にスライド→アドレスバーにURL／キーワードを入力

3 [Go]／キーワードの候補を選択

付録／索引

トラブルシューティング (FAQ)

◆ 故障かな?と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P52
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないとときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にお相談ください。

■ 電源・充電

● 本端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P24
- 電池切れになっていませんか。

● 充電ができない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P24
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- ACアダプタ（別売）をご使用の場合、組み合わせて使用するFOMA充電microUSB変換アダプタT01（別売）が、本端末およびACアダプタと正しく接続されていますか。→P26
- 付属のPC接続用USBケーブルT01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してイルミネーションが点滅する場合があります。その場合は本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

・ 温度の低い場所では充電が開始されない場合があります。端末の電源を入れた状態にしてから充電してください。電源が入っている状態でも充電できない場合や、端末の電源が入らない場合には、温度の低い場所を避けて充電してください。

● 付属のワイヤレスチャージャーが充電できない (チャージインフォーメーションが点灯しない)

- 専用のACアダプタを使用していますか。
- 専用ACアダプタの電源プラグ、コネクタが奥まで確実に差し込まれていますか。
- ワイヤレスチャージャーと本端末や電池パックの間に異物がありませんか。
- 充電完了またはほぼ充電完了しています。
- 本端末や電池パックを充電エリアの中央付近に置いていますか。
- 本端末や電池パックを正しい向きに置いてください。

● ワイヤレスチャージャーで充電できない (チャージインフォーメーションが点滅する)

- 専用ACアダプタを使用していますか。または異常がありませんか。専用ACアダプタを使用しても状態が変わらない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に差し込み直してください。
- ワイヤレスチャージャーと本端末や電池パックの間に異物がありませんか。
- 本端末や電池パックを充電エリアの中央付近に置いてください。

● ワイヤレスチャージャーが充電できない (チャージインフォーメーションがゆっくり点滅する)

本端末や電池パックの温度が高すぎたり、低すぎたりしませんか。5℃～35℃の場所で本端末や電池パックをしばらく置いてから充電してください。

● ワイヤレスチャージャーでの充電時間が長い

充電する場所の温度が高すぎたり、低すぎたりしませんか。5℃～35℃の場所で充電してください。

■ 端末操作

● 電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることができます。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

● ボタンを押しても動作しない

スリープモードになっていませんか。□または◎を押して解除してください。

● 電池の使用時間が短い

- ・窓外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。窓外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- ・電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- ・電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっています。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックを買い求めください。

● ドコモminiUIMカードが認識されない

ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P22

● 操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話やワンセグ視聴などを長時間行った場合には、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがあります。安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

● 端末が熱くなり、電源が切れる

充電しながら複数のアプリケーションの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

● 時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の「日付と時刻の自動設定」にチェックが付いていることを確認し、電波のよい所で電源を入れ直してください。

■ 端末動作が不安定

ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションにより不安定になっている可能性があります。

セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。

次の方法でセーフモードを起動してください。
電源を切った状態で□を2秒以上押し、防水注意喚起画面が消えてからホーム画面が表示されるまでの間、◎を押し続けてください。セーフモードが起動するとホーム画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

* 事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。

* お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。

* セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

■ 通話

● 通話ができない（場所を移動しても窓外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- ・ドコモminiUIMカードを取り付け直してください。→P22
- ・電池パックを取り付け直してください。→P24
- ・電源を入れ直してください。→P26
- ・電波の性質により窓外ではなく、電波状態アイコンが4本表示されている状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- ・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「[しばらくお待ちください]」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ カメラ

● カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- ・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- ・シーン別撮影の【自動シーン認識】を利用してください。
- ・次の機能を利用してもピントを合わせることができます。
 - AFモード
 - 追跡フォーカス
 - タッチオートフォーカス
- ・近くの被写体を撮影するときはAFモードを【接写】に切り替えてください。

■ おサイフケータイ

● おサイフケータイが使えない

- ・電池パックを取り外すと、おサイフケータイロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- ・おサイフケータイ ロック設定を起動していませんか。
- ・本端末の \textcircled{N} マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。

◆ エラーメッセージ

● しばらくお待ちください

- ・音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- ・110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

● しばらくお待ちください（パケット）

- パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたつてから操作し直してください。

● 電池残量がありません。シャットダウンします。

電池残量がありません。充電してください。→P25

● PINコードが正しくありません。残り回数：X

正しくないPINコードを入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P42

● PINコードを入力

PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P42

● SIMカードが挿入されていません

ドコモminiUIMカードが正しく挿入されていない場合に表示されます。ドコモminiUIMカードが正しく挿入されているか確認してください。なお、ドコモminiUIMカードが正しく挿入されていない場合、日本国内では、緊急通報（110番、119番、118番）を含め電話発信できません。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作や設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ・ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- ・スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ・一部サポート対象外の操作・設定があります。
- ・スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンター

☎ 0120-783-360

受付時間:午前9:00～午後8:00(年中無休)

～電話

2 アプリケーションメニューで[リモートサポート]

- ・はじめてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ドコモからご案内する接続番号を入力

4 接続後、遠隔サポートを開始

本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータは、一部を除きすべて削除されます。

1 ホーム画面で①→[本体設定]→[バックアップとリセット]→[データの初期化]→[内蔵ストレージ内のデータを消去]にチェック→[携帯端末をリセット]

- ・セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。
- ・[SDカード内データを消去]にチェックを付けると、microSDカード内のデータもすべて消去されます。

2 [すべて消去]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- ・初期化中に電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。

✓お知らせ-----

- ・タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださいようお願いします。
- ※本端末は、電話帳コピーツールなどを使って電話帳データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください(→P47)。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数かかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(液晶・コネクタなどの破損)による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合(例:水濡れシールが反応している場合)
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)
- *修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本しております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- ・本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- ・次のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- ・本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができるないため、故障修理をお受けできない場合がありますのでご注意願います。
- ・各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他の取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださいようお願いいたします。
- ・修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- ・本端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- ・本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-09Dのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページをご案内いたします。

- ・更新方法は、次の3種類があります。
 - 自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
 - 即时更新：今すぐ更新を行います。
 - 予約更新：予約した時刻に自動的に更新します。

✓お知らせ

- ・ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取りていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ご利用にあたって

- ・ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ・ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- ・次の場合はソフトウェアを更新できません。
 - 通話中
 - 圏外が表示されているとき*
 - 國際ローミング中*
 - 機内モード中*
 - OSバージョンアップ中
 - 日付と時刻を正しく設定していないとき
 - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
 - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき
- ※ 圏外、國際ローミング中では、Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ・ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ・ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ・ソフトウェア更新は電波状態のよい所で、移動せずに実施することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ・ソフトウェア更新が不要な場合は、[更新の必要はありません。このままお使いください。] と表示されません。
- ・國際ローミング中、または圏外にいるときは、「[ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません。] または「[ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であっても書換え処理を開始できません。] と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。

- ・ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ・ソフトウェア更新の際、お客様のF-09D固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ・ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、「[ソフトウェア更新に失敗しました]」と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- ・PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ・ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

◆ソフトウェアの即時更新

- 1 ホーム画面で③→[本体設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]→[更新を開始する]→[はい]
- 2 書換え処理開始画面表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-09Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{※1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR : Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.547W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力によるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能ですが、NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します^{※2}。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>
ドコモのホームページ

<http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

富士通のホームページ

<http://www.fmworld.net/product/phone/sar/>
※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※ 2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

◆ Declaration of Conformity

The product "F-09D" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on <http://www.fmworld.net/product/phone/doc/>.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR^{*} limits^{**} for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR^{*} value, when tested for compliance against the standard was 0.428W/kg for HEAD, 0.51W/kg for BODY. While there may be differences between the SAR^{*} levels of various phones and at various positions, they all meet^{***} the EU requirements for RF exposure.

- * The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
- ** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
- *** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions :
 - ① this device may not cause harmful interference, and
 - ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves. This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the

maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.42W/kg, and when worn on the body, is 1.03W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> (please search on FCC ID VGK-F09D).

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.0 cm from the body.

※ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general

public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）並びに米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- ・「FOMA」「iモード」「iアブリ」「i モーション」「デコメール®」「トルカ」「あまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「i チャネル」「おサイフケータイ」「iD」「マチキャラ」「WORLD WING」「公共モード」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っ越しサービス」「ケータイお探しサービス」「エリアメール」「sp モード」「声の宅配便」「あんしんスキヤン」「eトリセツ」および「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- ・「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ・McAfee®、マカフィー®は米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ・ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガ
イドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およ
びGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよ
び(または)その関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- ・本製品はAdobe Systems Incorporatedの Adobe® Flash® Playerを搭載しています。
Adobe Flash Player Copyright © 1996-2012
Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe、FlashおよびFlash Logoは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- ・本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewerを搭載しています。
ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

Copyright© 2012
ACCESS CO., LTD. ACCESS® NetFront®
All rights reserved.



- ・「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- ・「」はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- ・FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- ・QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・StationMobile®は株式会社ピクセラの登録商標です。
- ・TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- ・「エシモカメラ®」は、アイティア株式会社の登録商標です。
- ・microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- ・Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国 Microsoft Corporationの商品名称です。本書では Excel、Wordのように表記している場合があります。
- ・本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate) の略です。
 - Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic, Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate) の略です。



- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたは Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- GoogleおよびGoogleロゴ、AndroidおよびAndroidロゴ、Google PlayおよびGoogle Playロゴ、GmailおよびGmailロゴ、Google Latitude、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Google マップ、Google マップ ナビおよびGoogle マップ ナビロゴ、Google トークおよびGoogle トークロゴ、Google プレイスおよびGoogle プレイスロゴ、Google 音声検索、Picasaは、Google, Inc.の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- SRS[®]
は、SRS Labs, Inc.の商標です。
TruMedia™技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- この機器に搭載されているフォントは株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。「UD新丸ゴ」「ハッピーNJ」「はるひ学園」は、同社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WMM®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。((O))

- OBEX™は、Infrared Data Association[®]の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Felicaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- SRS TruMedia™は、携帯電話やポータブル・メディア・プレーヤーなどモバイルデバイスのために特に調整されたプレミアム・オーディオ・ソリューションで、映画館にいるような臨場感あふれるサラウンド・ヘッドフォン機能と共に、深く、豊かな低音を提供します。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画や i モーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人のかつ営利活動に従事していない消費者によって記載されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - プロモーション、社内用、営利目的などの他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオリライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のためには(i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および/または(ii) AVCビデオ（個人的に、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。
<http://www.mpeglal.com> をご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

- お買い上げ時、端末本体メモリには以下の辞書コンテンツがインストールされています。

〈三省堂〉

デイリー日中英・中日英辞典（池田巧監修／三省堂編修所編）

また、以下のコンテンツは本端末からダウンロードサイトにアクセスするか、お手持ちのパソコンからPC専用ダウンロードサイトにアクセスすることで、ダウンロードすることができます。

本端末でダウンロードする場合、通信環境によっては膨大なパケット通信が発生しますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

お手持ちのパソコンを使ってダウンロードした場合には、microSDカードへコピーし、本端末に取り付けてください。

〈岩波書店〉

広辞苑第六版（新村出編）

〈研究社〉

リーダーズ英和辞典 第2版（松田徳一郎編）

新和英中辞典 第5版（Martin Collie, David P.Dutcher、田辺宗一、金子稔編）

〈大修館書店〉

新漢語林MX（鎌田正、米山寅太郎著）

みんなで国語辞典② あふれる新語（北原保雄編著／

「もっと明鏡」委員会編集）

KY式日本語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）

問題な日本語（北原保雄編（北原保雄、小林賢次、砂川有里子、鳥飼浩二、矢澤真人執筆））

築地魚河岸ことばの話（生田與克、富岡一成著）

〈自由国民社〉

現代用語の基礎知識2012年版（自由国民社編）

〈小学館〉

家庭医学館（総編集 柳下徳雄／脳部光男／岡島重孝／小学館・家庭医学館編集委員会）

〈角川学芸出版〉

角川類語新辞典（大野晋、浜西正人著）

〈三省堂〉

デイリー日仏英・仏日英辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）

デイリー日独英・独日英辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）

デイリー日韓英・韓日英辞典（福井玲・尹亭仁監修／三省堂編修所編）

デイリー日西英・西日英辞典（上田博人、アントニオ・ルイス・ティノコ監修／三省堂編修所編）

デイリー日伊英・伊日英辞典（藤村昌昭監修／三省堂編修所編）

デイリー日中英3か国語会話辞典（池田巧・胡興智監修／三省堂編修所編）

デイリー日韓英3か国語会話辞典（尹亭仁監修／三省堂編修所編）

デイリー日独英3か国語会話辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）

デイリー日仏英3か国語会話辞典（村松定史監修／

三省堂編修所編）

デイリー日韓英3か国語会話辞典（藤村昌昭監修／

三省堂編修所編）

デイリー日英3か国語会話辞典（山村ひろみ監修／三省堂編修所編）

◆ Adobe® Flash® Player エンドユーザ・ライセンス契約

(i) a prohibition against distribution and copying, (ii) a prohibition against modifications and derivative works, (iii) a prohibition against decompiling, reverse engineering, disassembling, and otherwise reducing the software to a human-perceivable form, (iv) a provision indicating ownership of the Software by Partner and its suppliers, (v) a disclaimer of indirect, special, incidental, punitive, and consequential damages, and (vi) a disclaimer of all applicable statutory warranties, to the full extent allowed by law, a limitation of liability not to exceed the price of the Integrated Product, and/or a provision that the end user's sole remedy shall be a right of return and refund, if any, from Partner or its Distributors.

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれております。
ライセンスに関する詳細は、「設定」→「端末情報」→「法的情報」→「オープンソースライセンス」をご参照ください。
- 本製品で使用しているオープンソースソフトウェアのソースコードは、GPL (<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>)、LGPL (<http://www.gnu.org/licenses/lgpl-2.1.html>)、EPL (<http://www.eclipse.org/legal/epl-v1.0.html>)、MPL (<http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html>)、CPL (<http://www.eclipse.org/legal/cpl-v1.0.html>) の規定に従い開示しております。
詳細については以下のサイトの本製品に関する情報をご参照ください。
<http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/>

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

ア行	
アクセスポイント	38
アフターサービス	51
アプリケーションメニュー	33
エリアメール	45
おまかせロック	43
カ行	
キーボード	
切り替え	31
手書きキーボード	30
テンキーキーボード	30
表示／非表示	31
QWERTYキーボード	30
緊急速報「エリアメール」	45
ケータイ入力	32
サ行	
ジェスチャー入力	32
充電	25
初期化	50
初期設定	28
スクリーンショット	28
ステータスアイコン	29
ステータスバー	29
スマートフォンあんしん遠隔サポート	50
設定メニュー	37
ソフトウェア更新	52
タ行	
タッチパネル	27
通知アイコン	29
テザリング	40
デバイス管理	43
電池	
充電	25
電池パックの取り付け／取り外し	24
電話	
受ける	35
かける	35
緊急通報	35
通話音量	36
ドコモminiUIMカード	
暗証番号	42
取り付け／取り外し	22
ハ行	
ブラウザ	46
画面の操作	46
Webサイトの表示	46
フリック入力	
ホーム画面	32
保証	51
マ行	
無線とネットワーク	38
メール	44
文字入力	30
キーボード	30
ヤ行	
輸出管理規制	57
ラ行	
リセット	50
英数字・記号	
APN	38
Eメール	44
Gmail	45
microSDカード	23
取り付け／取り外し	23

mopera U	
アクセスポイント	38
PINコード	42
SAR	54
SIMロック解除	61
SMS	44
spモード	38
spモードメール	44
USBテザリング	40
Wi-Fi	39
Wi-Fiテザリング	40

MEMO

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をおオンライン上で承っております。

■パソコンから My docomo
(<http://www.mydocomo.com/>)
⇒ 各種お申込・お手続き

※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。

※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。

※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず端末の電源を切ってください。

※医療用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

○ カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● 公共モード（ドライブモード／電源OFF）

電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

● バイブレーション

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

● マナーモード

着信音や操作音など端末から鳴る音を消すことができます。

音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定することができます。

※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収していますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮されて製本されています。
不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。



リサイクルマーク
資源有効利用促進法に基づく表示